利用区分別の基本方向

土地の利用形態に基づき、次の6つに区分して基本方向を定めました。

農用地

農業の生産基盤であり、自然環境保全、防災の役割などを果たしている農用地の確保と整備を図ります。

森林

本市の総面積の45・5％を占める森林の公益的機能を保全します。また、森林を活用したレクリエーション的、教育的利用などを推進します。

水面・河川・水路

農業用水や治水、防災用水源など、日常生活に直結する重要な機能を持っている河川・水路などの整備を計画的に推進します。

道路

生活利便性の向上や活力ある産業振興などを図るため、地域間ネットワークの強化、九州大学伊都キャンパスと市街地をつなぐルートの整備などを推進します。

宅地

●住宅地

九州大学伊都キャンパスなどの整備による宅地需要に対応し、良好な市街地の確保を推進します。

●工業用地

自然・生活環境に配慮し、研究施設や企業の需要に対応できる産業用地を確保し、企業誘致に努めます。

●その他の宅地

ＪＲ筑前前原駅周辺やＪＲ波多江駅周辺、国道２０２号沿線、ＪＲ筑前深江駅周辺、志摩初地区周辺を商業地域として、地域全体の活性化を推進します。

その他

コミュニティ活動、体験型観光、既存遺跡の公園化など多面的な利用を促進します。

利用目的に応じた区分別の規模の目標

区分		規模(ha) 基準年次 平成20年	規模(ha) 中間年次 平成27年	規模(ha) 目標年次 平成32年	構成比(%) 平成20年	構成比(%) 平成27年	構成比(%) 平成32年	増減率(%) (27年／20年)-1	増減率(%) (32年／20年)-1
農用地		6,036	5,998	5,960	27.9%	27.8%	27.6%	-0.6%	-1.3%
	田	3,831	3,807	3,783	17.7%	17.6%	17.5%	-0.6%	-1.3%
	畑	2,175	2,161	2,147	10.1%	10.0%	9.9%	-0.6%	-1.3%
	採草牧草地	30	30	30	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%
森林		9,826	9,808	9,790	45.5%	45.4%	45.3%	-0.2%	-0.4%
	国有林	1,097	1,096	10,95	5.1%	5.1%	5.1%	-0.1%	-0.2%
	民有林	8,729	8,712	8,695	40.4%	40.3%	40.2%	-0.2%	-0.4%
原野		—	—	—	—	—	—	—	—
水面・河川・水路		464	465	465	2.1%	2.1%	2.2%	0.1%	0.2%
	水面	170	170	169	0.8%	0.8%	0.8%	-0.3%	-0.6%
	河川	134	134	134	0.6%	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%
	水路	159	161	162	0.7%	0.7%	0.7%	0.9%	1.9%
道路		1,178	1,199	1,220	5.4%	5.5%	5.6%	1.8%	3.6%
	一般道路	734	751	768	3.4%	3.5%	3.6%	2.3%	4.6%
	農道	393	396	399	1.8%	1.8%	1.8%	0.7%	1.4%
	林道	51	53	54	0.2%	0.2%	0.2%	2.9%	5.9%
宅地		1,580	1,626	1,672	7.3%	7.5%	7.7%	2.9%	5.9%
	住宅地	1,297	1,324	1,351	6.0%	6.1%	6.3%	2.1%	4.1%
	工業用地	21	40	58	0.1%	0.2%	0.3%	86.6%	173.2%
	その他宅地	261	262	263	1.2%	1.2%	1.2%	0.4%	0.8%
その他		2,528	2517	2,505	11.7%	11.6%	11.6%	-0.5%	-0.9%
合計		21,612	21,612	21,612	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

※農用地、森林に関する推計値は、過年度実績値に基づく推計
※道路、水面・河川・水路は、事業計画区間の転換面積を計測し、平成20年数値に換算
※住宅は、今後10年間に想定される拡大市街地面積と市街化区域内農用地の転換面積より算定
※その他は、市域面積から各数値を除いた数値
※各項目の中間年次の数値は、目標年次までの増減値の半分を基本年次の数値に加算

地域別の基本方向

小学校区界を基本に、次の6地域に区分して基本方向を定めました。

前原北部地域

ＪＲ筑肥線沿線の市街地形成をはじめ、九州大学伊都キャンパス、前原インターチェンジ周辺などに企業の誘致を進めます。

前原南部地域

農用地の無秩序な利用防止、田園居住の確保、農村集落の道路整備、計画的な森林整備などに努めます。

二丈東部地域

農用地の保全や市街地の下水道施設整備、九州大学関連企業の誘致、ＪＲ筑前深江駅周辺の整備などを推進します。

二丈西部地域

農用地の保全や市街地の下水道施設整備などに加え、自然環境を生かした観光・レク・交流拠点での都市との交流・連携を促進します。

志摩東部地域

農用地の保全、市街地の下水道施設整備などに加え、九州大学伊都キャンパス西側に研究・研修施設や九州大学関連の誘導を図ります。

志摩西部地域

レク・リゾート施設の適正な誘導や交通の利便性向上などを図ります。

また、姫島の自然環境保全、海洋資源の利用など離島の特性を発揮できるよう土地利用を図ります。

計画の推進

この計画を達成するため、次のような方法で推進します。

- **法律に基づく適正な運用**
- **地域施策の促進**
- **環境の保全、安全性の確保**
- **土地利用の適正な転換**
- **土地の有効利用の促進**
- **市民との協働管理の推進**
- **市土の調査の実施と結果の公表**
- **計画の推進と指標の活用**

市内の土地を市民のみなさんと協力して管理していくことで、地域への愛着の向上や交流活動の促進など適切な市土利用が期待できると考えています。

パブリックコメント

計画案に対して、みなさんからいただいたご意見を一部紹介します。

Q 「銚子塚古墳」を正式名称の「一貴山銚子塚古墳」に変更が必要です。

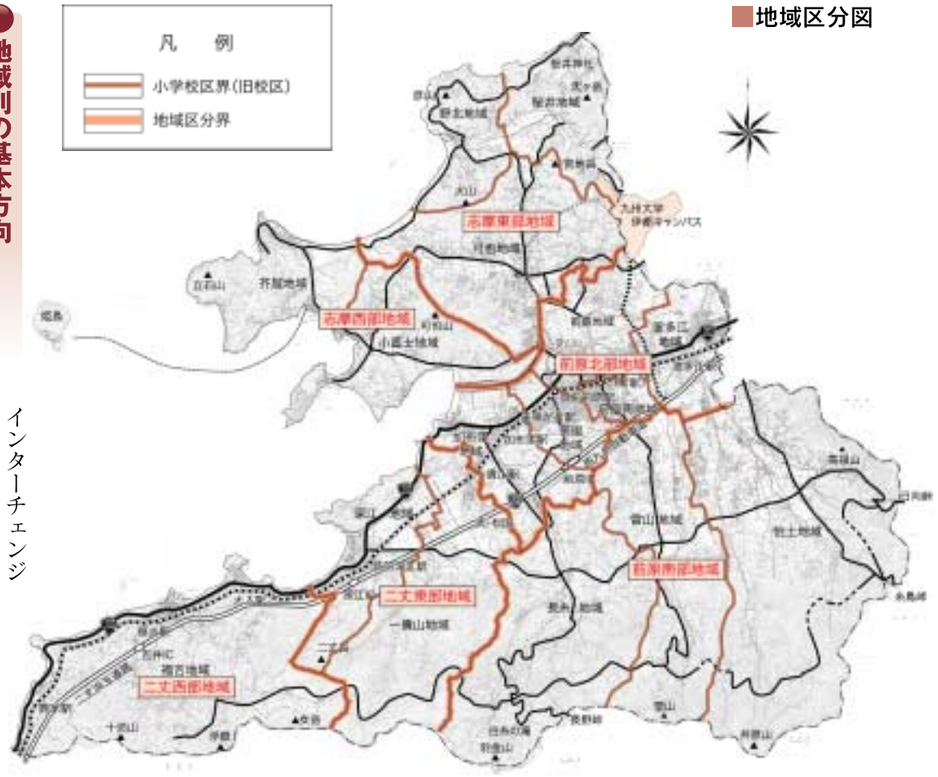
A 正式名称は原文のままですが、分かりやすいようにご指摘の表記に変更しました。

Q 観光・レク・交流ゾーンの説明に、具体的な施設の活用を追加してください。

A 国土利用計画は、土地利用の方向性を示す計画であるため修正しません。

※計画の詳しい内容は、市ホームページに掲載しています。

また、計画書は市役所情報公開コーナーや市立公民館で閲覧できます。

問い合わせ
糸島市経営企画課
☎(332)2061
http://www.city.itoshima.lg.jp

■地域区分図